

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

春のテーマ番組「宇宙の謎にズバリお答え」が2月22日から始まります

さじアストロパークのオリジナル番組「宇宙の謎にズバリお答え」が2月22日(水)から始まります。科学の力によって垣間見ることができる宇宙を紹介する、冬のテーマ番組「見えない宇宙に挑む」は2月19日(日)までの投影となります。

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員25名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。寒い時期なので温かくしてお越しください。

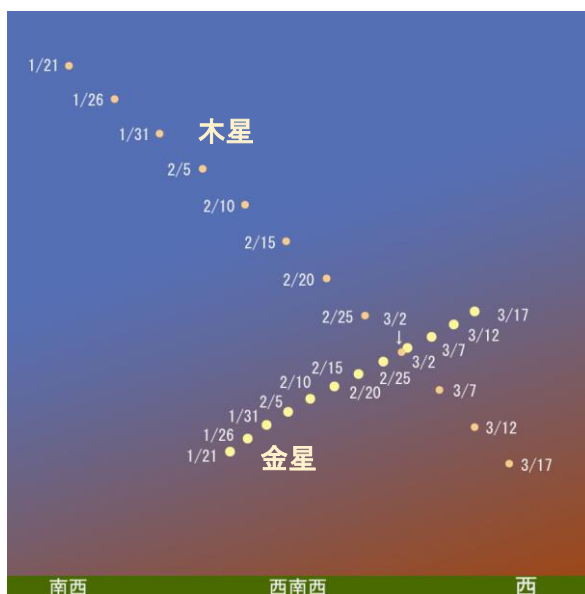


2月の注目天体情報

☆金星と木星の接近

日没が少しずつ延びてきていますが、赤く染まった夕焼け空の中にひときわ明るい星が見えています。この星は「金星」で、夕方に見られることから「宵の明星」とも呼ばれます。その金星に木星が接近する様子が見られます。

右の図は、5日おきの日没30分後の金星と木星の位置です。2月の初めはまだ少し離れていますが、しだいに近づいていき、3月2日にはくっつくのではないかと思うほど接近します。しばらくは夕方の西の空に注目です。



☆冬の大三角

3つの明るい星でできる大きな三角形として、春・夏・そして冬の大三角がありますが、「冬の大三角」ほど形がきれいで、明るい星で、目立つ三角はないでしょう。3つの星は、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンです。

実はきれいな三角形ですが、地球からの距離が、ベテルギウス(498光年)、シリウス(8.6光年)、プロキオン(11光年)となっていて、たまたま地球から見るときれいな三角形になっているのです。また、地球からだとシリウスが最も明るく見えますが、ほんとうは距離が一番遠いベテルギウスが3つの星の中で最も明るい星です。

